











◎児童の情報活用能力（デジタル・シティズンシップ）

A：情報社会の倫理    B:法の理解と順守    C:安全への知恵    D:情報セキュリティ    E:公共的なネットワーク社会の構築				
	小学校低学年（１・２年）	小学校中学年（３・４年）	小学校高学年（５・６年）	
情報技術 の役割・ 影響の 理解及び 態度			C4:インターネットやメディアの情報は、発信者の意図が含まれていることを知り、多面的・多角的に考察し、情報の意図を把握し活用することができる	
			E1:コンピュータなどによって、生活や産業がどのように変化しているかを考え、今後の生活に生かすことができる	
デジ タル・シ ティズ ンシ ップ 教育・情 報セキ ュリ ティの 知識理 解及 び態 度	A1: 人の作ったものを大切にするのはなぜかを考えることができる	B1:情報を発信するときにどんなことが起こるのかを予測し、責任をもって発信できる力を身に付ける	A3:インターネット上のコミュニケーションで、相手と心のすれ違いが起きないように考え、自他の権利を尊重した責任ある行動ができる	
	A2:タブレットやコンピュータなどを利用するときの基本的なルールを理解し、正しく使うことができる	C3:不適切な情報や情報社会での危険に対しての対策、対処方法を考えることができる。	B2:情報社会のルール、マナー、契約行為について考え、議論し合いながら、自分の行動に生かすことができる	
	C1:他者（友達も含む）に伝えてはいけない情報があるのはなぜかを考え、伝えないようにすることができる	D1:自分や友達の個人情報大切にすることはなぜだろう。また、どんなことを気を付けるかを考え、責任ある行動ができる	C5:インターネット上の情報を取捨選択したり、フィルターバブルの問題点を考えたりすることができる	
	C2:ID やパスワードを管理する理由を考え、大切に扱うことができる	D2:コンピュータやインターネットの使い過ぎによる健康への影響を考え、どのような使い方をするとよいか考え、生活習慣を見直すことができる	D4:パスワードの不正利、情報の流出についての問題点、対策、対処方法を考え、自分が加害者、被害者にならないための行動を選択することができる	

＊：学習の基盤となる資質・能力としての情報活活用能力の育成（文部科学省）の中で示された情報能力活用の体系表例を、知識・技能を基軸に再構成し、さらに、デジタル・シティズンシップ教育の視点で見直しを図り、児童の獲得すべき情報活用能力を提示したもの。

A：情報社会の倫理		B:法の理解と順守		C:安全への知恵		D:情報セキュリティ		E:公共的なネットワーク社会の構築							
学習用タブレットの利用				学習用タブレットを含む、情報メディア全般の利用											
小学 1 年生				小学 2 年生		小学 3 年生		小学 4 年生		小学 5 年生		小学 6 年生			
単元				A2: “じぶんの”を学習用タブレットまなびにつかうってどういこと？		D2:”じぶんの”と学習用タブレットじょうずにつきあうには？		D2:メディアの使い方について、自分でバランスをとるには？		A3:ネットでのやりとり、どうすれば相手にうまく伝わる？		B1:責任ある発信ってどういうこと？			
ねらい				配布された学習用タブレットを、自分の文房具の一つとして大切に活用しようとする		家庭へ学習用タブレット持ち帰ったときに、学習用タブレットを使って宿題や自身の学習をしたり、調べ学習をしたりする際に、起こりうる様々なトラブルに対して、その対応の仕方を考えることを通して、学習用タブレットと上手に付き合う（安心して有効に活用する）ための方法を理解することができるようにする。		自分に最適なメディアバランスを考えて、健康にメディア（パソコンやネット）を利用することができるようにする。		「メディアの使い方、自分でバランスをとるには？」の単元を未履修の場合は、三年時の単元を実施する。		オンラインのやりとりで、なぜトラブルが起きるのかについて考え、その対策を練ることを通して、自分の役割を自覚し、責任をもって発信をする大切さを学び、よりよくオンラインを通して関係を築くことができるようにする。		情報の創造者として、自分の思いを大切にしつつ、周りへの配慮を考えることを通して、責任をもった発信ができるようにする。	
授業内容				「学校で、学習用タブレットを自分の学びのために使うとは、どういうことだろう？また、学習用タブレットを賢く使うにはどうしたらよいだろう？」を主発問として、家と学校それぞれの使い方の違いについて考えたり、安心して、楽しく学習用タブレットを使うための約束について考える。 		学習用タブレットと上手に付き合う（安心して有効に活用する）方法を理解するために、家庭へ学習用タブレットを持ち帰り、宿題や自身の学習をしたり、自分の趣味で使ったりするときに起こりうる様々なトラブルへの対応の仕方を考える。 		デジタルデバイス（ネット）の利用だけでなく、テレビや新聞、書籍など、さまざまなメディアの存在を理解したうえで、健康にメディアを利用するために自分にとって最適なバランスについて考える。 				チャットなどのオンラインのやりとりで、なぜトラブルが起きるのかについて考える。さらに、自分の役割を自覚し、責任をもって発信をする大切さを学び、友だちや周囲の人々とよりよいオンラインの関係を築くことができるようにするにはどうしたらよいか、トラブルにどう対処すればよいかについて考える。 		ネットを使った情報発信のシーンを想定し、自分が発信したいと思う内容やその理由を大切にしつつ、周りへの配慮を考えると、どういうことか、情報の発信に責任をもつとはどのようなことかについて考える。 	
授業の展開				<u>導入</u> 学習用タブレットが配られて、どのような気持ちでいるか、どのようなことに使いたいのかを全体場で確認する。 <u>展開</u> 学校における自分の学習用タブレットの使い方を考える。 <u>まとめ</u> 本時の振り返り ＜発展課題＞ クラスの中で、みんなが気持ちよく学習用タブレットを使うために、どのような約束があるとよいか考える。		<u>導入</u> 家に学習用タブレットを持ち帰って、どのようなことに使いたいのかを確認する。 <u>展開</u> 家庭での学習用タブレットの上手な付き合い方を考える。 <u>まとめ</u> 本時の振り返り ＜発展課題＞ 家では、「食事」や「睡眠」など、健康に過ごすために、気を付けることがたくさんある。これらもしっかりとできるようにするには、学習用タブレットを使うとき、どのような工夫をすればよいか考える。		<u>導入</u> 普段、家族でどのようなことに、どれだけの時間、メディアを利用しているかを振り返る。 <u>展開</u> 自分に合ったメディアバランスを考える。 <u>まとめ</u> 本時の振り返り ＜発展課題＞ 自分で考えたメディアバランスを生かすために、自分の身近な人のメディアバランスを調べる。				<u>導入</u> オンラインのやりとりのよさを踏まえた上で、動画教材のやりとりをもとに、オンラインコミュニケーションの特徴を考える。 <u>展開</u> 情報の発信者として、よりよいオンラインコミュニケーションをするために、どのような点に気を付けて行動する必要があるか考える。 <u>まとめ</u> 本時の振り返り ＜発展課題＞ 今後、上の学年や、下の学年の子とオンラインコミュニケーションをする時には、どのような行動が求められるか考える。		<u>導入</u> ネットでどのような情報発信の仕方があるのかを知ったり、その利用状況を確認したりして、本時の課題を理解する。 <u>展開</u> 学校のウェブサイトで学校新聞を掲載する際、責任をもった発信をするためには、どうすべきかを考える。 <u>まとめ</u> 本時の振り返り ＜発展課題＞ 自分が家で YouTube や SNS など で投稿する際、責任をもった発信をするためには、どのようなことを大切にするか考える。	
関連資料 動画・指導案等															

A：情報社会の倫理    B:法の理解と順守    C:安全への知恵    D:情報セキュリティ    E:公共的なネットワーク社会の構築			
	小学校低学年（１・２年）	小学校中学年（３・４年）	小学校高学年（５・６年）
情報技術の役割・影響の理解及び態度	<div>☆授業展開のポイント（抑制→活用）</div> <div>「どうしたらよいのかを考えてみよう」</div> <div>「メリットとデメリットを見つけてみよう」</div> <div>「そのために自分はどんな行動をとればよいのか」</div> <div>「もし何か起こったら、どう行動すればよいのか」</div>		C4: <u>よく考えて！その「拡散希望」</u> 動画資料を視聴し、自身の情報の発信の責任が問われることがあることを理解する。もし、事実かどうか分からない情報が送られてきたら、どう行動すればいいか考える。 
			E1: —
デジタル・シティズンシップ教育・情報セキュリティの知識理解及び態度	A1: <u>わたしのえをかえないで（２年）</u> 動画資料を視聴し、著作物の大切さに気付く。著作物を使ってもよい場面について考える。 	B1: <u>友達しか見ていないと思ったのに</u> 動画資料を視聴し、情報発信をするときに気を付けることと理解する。SNSを行うときには、どんな使い方をして、もし問題が起こったら、どうするか考える。 	A3: <u>そんな意味じゃないのに…</u> 動画資料を視聴し、オンライン上での会話は、伝え方によって、問題になる場合があることを理解する。誤解を生まない、よい伝え方について考える。 
	A2: <u>みんなのタブレット（１年）</u> 動画資料を視聴し、タブレットの正しい利用の仕方について理解する。正しく利用するために、どのような使い方をしていくかを考える。 	C3: <u>やくそくをまもってあれば</u> 動画資料を視聴し、インターネットにひそむ危険性について理解する。安全にインターネットを利用するためには、どんな利用の仕方をすればいいか考える。 	B2: <u>気が付かないうちにこんなに…！？</u> 動画資料を視聴し、ゲームのアイテムのように、形に残らない物は、買いすぎないように注意することを理解する。買いすぎないように、楽しく利用する方法について考える。 
	C1: <u>個人情報を守る（２年）</u> 動画資料を視聴し、個人情報の大切さについて理解する。もし、知らない人に個人情報を聞かれたら、どのような対応をすればいいか考える。 	D1: <u>本当に登録してもいいの？</u> 動画資料を視聴し、個人像法の重要性について理解する。自分が個人情報を登録する場面に遭遇したら、どのように行動するか考える。 	C5: <u>情報収集の基本を知ろう！</u> 動画資料を視聴し、情報収集のポイントを理解する。また、フィルターバブル問題について考える。偏った情報ばかりにならない情報収集の仕方を考える。 
	C2: <u>わたしの写真がなくなっている（１年）</u> 動画資料を視聴し、自分のIDやパスワードを活用するときに注意することを理解する。もし、他人のパスワードを知ってしまったら、どう行動すればいいか考える。 	D2: <u>動画に熱中しすぎると…</u> 動画資料を視聴し、ネット依存や、ネット依存になる原因について理解する。健康的に過ごすために、学習用タブレットをどのように利用していけばいいか考える。 	D4: <u>気をつけて！個人情報ネット上に</u> 動画資料を視聴し、SNSで個人情報が流出してしまうことの危険性を理解する。安全に利用するために、どのようなことに気を付けて情報を発信すればいいか考える。 

幸海小学校 デジタル・シティズンシップ教育 年間指導計画（その他デジタル教材の活用）

A：情報社会の倫理		B:法の理解と順守		C:安全への知恵		D:情報セキュリティ		E:公共的なネットワーク社会の構築							
		学習用タブレット導入時		小学 1 年生		小学 2 年生		小学 3 年生		小学 4 年生		小学 5 年生		小学 6 年生	
単元		C2: ID とパスワード		A2: 利用時のルール		D2:利用時間を決めよう		C3： 情報を見極めよう		A3: 安全なコミュニケーション		A3: ネットでの言葉遣い		E1：自分の気持ちを伝えよう	
ねらい		ID とパスワードについて理解を深めることで、安全に端末を活用できる。		『利用を制限するため』ではなく、『安全に活用するため』にルールがあることを理解する。		便利に楽しく活用するための利用時間のバランスを考える。		インターネットで情報を収集する際に、情報が正しいかどうか考える。		インターネットでのコミュニケーションにおいて、相手との適切な距離を保つことの重要性を理解する。		画面の向こうに相手がいることを意識し、どのような言葉遣いが適切か考える。		文字でのコミュニケーションの利点と欠点を適切に理解し、言葉選びなどを考える。	
授業案	指導内容	ID・パスワードってなに？ ID・パスワードについて、役割を理解するとともに、安全なパスワードの設定の仕方や管理方法を理解させる。 		どんなルールがあるのかな？ インターネットの利用状況から、危険な使い方をしていないかを考え何のためにルールがあるのかを考えさせる。		バランス良く使うには インターネットの利用時間を自律的にコントロールできるように、どのようなバランスで使えばよいのかを考えさせる。 		それ、ほんとう？ インターネットの情報には誤ったものもあることを理解し、ネット検索のコツを考えさせる。 		安全にコミュニケーションをとろう インターネットでつながる相手に会いにくいことの危険性を知り、オンライン上での相手との適切な距離感を考えさせる。		画面の向こうの相手はコンピュータ？ ボイスチャットなど、顔が見えない相手とのコミュニケーションを考え、対面と同じような気遣いが必要なことを実感させる。 		やりとりをみて考えよう 文字を使ったコミュニケーションの注意点ややってはいけないことなどを、実際のトーク事例から考えさせる。 	
	ポイント	家庭で使っている端末やサービスで ID・パスワードを設定していることにも触れ、安全な ID・パスワードの運用方法を考えさせる。		『利用を制限する』のではなく、『安全に有効活用する』ために、様々な注意点があることに気づかせる。		『使いすぎ』と『使わない』の 2 極化した意見にならないように配慮する。		インターネットで情報収集することによる利点に触れ、最大限に活用するためにはどうすればよいのかを考えさせる。		SNS でのコミュニケーションを否定するのではなく、相手と適切な距離を保ち、相手が自分のイメージと大きく異なる可能性もあることを気づかせる。		インターネットを使って世界中の人と音声でコミュニケーションが取れることの利点を伝えつつ、顔が見えない分より配慮が必要なことを気づかせる。		文字でのコミュニケーションの利点を示しつつ、特有の難しさを伝え、本人にその気はなくても違った伝わり方をしてしまうことを体験させる。	
	その他	・タブレットの扱い方（持ち運び・充電等） ・クラウドについて		・ネット検索の仕方 ・文字でのコミュニケーション		・文字でのコミュニケーション ・ゲーム内での交流		・インターネットの利点 ・セキュリティ		・適度な利用時間 ・個人情報の取り扱い		・個人情報の重要性 ・著作権について		・ネットの仕組みと特徴 ・動画投稿の注意点	
活動案		安全なパスワードを考えよう！ パスワードの安全性を確かめる活動を通して、安全なパスワードの作り方やセキュリティの重要性を学び、安全にインターネットを利用できるようになる。 		まるちゃんからの相談 パペットの『まるちゃん』からの『インターネットの使い方に関する相談』をうける活動を通して、「自分ならどうするか」という視点で考え、バランスの良い時間の使い方ができるようになる。 		ネット世界のいい妖怪を考えよう！ インターネットの快適な利用を助けてくれる「いい妖怪」を考える活動を通して、日常の使い方に関する具体的な工夫を主体的に考え、共有することで、より良い利用ができるようになる。 		必要な情報にたどり着こう！ 検索ワードを組み合わせることで目的にあった情報を得る活動を通して、自分が必要としている情報を得る手段を学び、正しい情報をすばやく集められるようになる。 		コミュニティのよさってなんだろう？ SNS のコミュニティによって社会問題が解決された事例を調べる活動を通して、インターネット上で人とつながることの良さに気づき、自分の可能性を広げられるようになる。		相手が嬉しいメッセージって？ チャットの文章から受ける印象をみんなで考える活動を通して、メッセージの受け取り方には個人差があることに気づき、相手を思いやるチャットができるようになる。 		SNS はどんなところが便利かな？ 実際にコメントをつけるなどのチャットの体験を通して、SNS の利点と欠点に気づき、生活をよりよくするためにどのように SNS を活用したらよいかを考えられるようになる。 	
関連教材	お助けネット	ノベルコンテンツ パスワードってなに？ 		動画 「動画とのつき合い方を考えよう」 		動画 「決めた時間で終わられるかな？」 		動画 「いろいろな調べ方」 		動画 「いつも見ている人なら大丈夫？」 		動画 「なにげないひとことから」 		動画 「すれちがい？かんちがい？」 	
	その他	IPA 動画教材 「あなたのパスワードは大丈夫？」 		ネット社会の歩き方動画教材 「タブレットやスマートフォンってどんなもの？」 		ネット社会の歩き方動画教材 「ネットゲームにのめり込むと」 		ネット社会の歩き方動画教材 「Web サイトの情報を活用しよう」 		文科省動画教材 「SNS を通じた出会いの危険性」 		ネット社会の歩き方動画教材 「なんて返事をしようかな」 		ネット社会の歩き方動画教材 「コミュニケーションのすれ違い」 	

[IPA 動画教材リンク先](#)

[ネット社会の歩き方リンク先](#)

[お助けネットリンク先](#)